

まえがき

「現代かなづかい」（新かな）は、昭和二十一年に公布されました。その後、昭和六十一年に「現代仮名遣い」が公布され、現代を生きる人の多くが「新かな」での教育を受けています。

歴史的仮名遣い（旧かな）は、中学校・高等学校の古典の授業でふれるくらいで、すでに日常生活とはかけはなれたものになっていると言えましょう。

一方、短歌や俳句などの世界では、歴史的仮名遣いは生きた表現として使われています。しかし、必要にせまられて調べたいと思っても、一部の国語辞典に小さく示されているのみで、和語についてだけのものも多いようです。

本書では、現代の言語生活において用いられる言葉の新旧かなづかいを対照して示しました。新かなの五十音順で検索でき、使いたい言葉の旧かなが一目でわかります。季語や地名も収録しました。付録にも、歴史的仮名遣いの要点をまとめた「歴史的仮名遣い概説」、内閣告示「現代仮名遣い」などを掲載し、表現・創作の助けとなるよう、編集いたしました。

本書が、さまざまな機会に皆さまのお役に立てば幸いです。

二〇一七年六月

凡例

一 本書は、現代仮名遣い（新かな）で日常普通に使われている言葉について、その言葉の歴史的仮名遣い（旧かな）を検索することを目的としている。

したがって、新旧の仮名遣いが同じ言葉は、原則としてとりあげていない。

二 配列は、現代仮名遣いの五十音順とする。

三 現代仮名遣いと歴史的仮名遣い、および該当する言葉を三段に分けて示した。

上段 検索しようとする言葉の現代仮名遣いでの表記を示す。

同音異義語は、一つの見出しのもとにまとめて示す。

中段 上段の現代仮名遣いに対応する、歴史的仮名遣いを示す。

一字の漢語については、特に漢字音をカタカナで示し、和語と区別した。

なお、誤解をさけるため、新旧の仮名遣いが同じものも併せて示した。

下段 中段に示した歴史的仮名遣いで表記される言葉の、漢字表記を示した。

同音異義語は、ここにまとめて示される。

送り仮名は「送り仮名の付け方」により、省略可能な仮名はグレーで示した。

季語としても使われる言葉には、それぞれ
の表記に季節のラベル 春 夏 秋 冬 新年
をつけた。

地名にも使われる言葉には◆を付した。

あわじ 淡路 ◆
あわじしま あはぢしほ 淡路島 ◆
あわす あはす 合はす・擘す・遣はす・会はす
あわせ あはせ 合はせ・拾(匁)
あわせもつ あはせもつ 合はせ持つ・併せ持つ
あわせる あはせる 合はせる・併せる・会はせる・逢はせる・遣はせる
あわだつ あわだつ 泡立つ
あわてんぼう あわてんぼう 栗立つ
あわばたけ あはばたけ 慌てん坊
あわび あはび 栗畑(匁)
あわまき あはまき 鮑(匁)・鮫(匁)
あわめし あはめし 粟時(匁)
あわゆき あわゆき 粟飯(匁)
泡雪・沫雪

あわじ——あんじゆ あはゆき 淡雪(匁)
あわよくば あはよくば
あわれ あはれ 哀れ・憐れ
あわれみ あはれみ 哀れみ・憐れみ・慇れみ・憫れみ
あわれむ あはれむ 哀れむ・憐れむ
あいに あにい 安易・安意
あにか あんか 安位・安慰
あなが あんぐわ 安価・案下
あながい あんぐわい 行火(匁)・安化
あんごう あんごう 安臥
あんごう あんごう 案外
あんごう あんごう 鮫(匁)・鰻(匁)・安康・暗香
あんごうなべ あんかうなべ 暗号・庵号・暗向
あんじがお あんじがほ 暗合
あんじゆう あんぢゆう 鮫(匁)・鍋(匁)
案じ顔
安住

あんしょう あんしょう 暗証・暗誦
あんしやう あんしやう 暗唱
あんせう あんせう 暗礁
あんじやう あんじやう 鞍上・安城 ◆
あんしょうばん あんしょうばん 暗証番号
ごう がう
あんぜんしゆう あんぜんしゆうか 安全週間
かん ん
あんじよう あんのぢやう 案の定
あんのん あんをん 安穩
あんぼう あんぱふ 罷法
あんりゆう あんりう 暗流

いあい ゐあい 位・困・委・威・為
いあひ ゐあひ 畏・胃・韋・唯・尉
いあつ ゐあつ 惟・倬・葦・違・緯
いあわす ゐあはす 萎・藁・維・慰・遣
いあわせる ゐあはせる 五・胆・斎・寝
いあん ゐあん 井・亥・居・率・猪
い い 蘭(匁)
い い 遺愛
いあつ ゐあつ 居合(匁)
いあわす ゐあはす 威(匁)
いあわせる ゐあはせる 居合はす
いあん ゐあん 居合はせる
い い 慰安
い い 良(匁)・易(匁)・好(匁)
い い 善(匁)・宜(匁)
い い 飯(匁)・誦(匁)
い い 唯(匁)々
い い 言(匁)ひ



い イ 巳・以・伊・夷・衣・矣・医・依・怡・易・移・異・意・縊

いあう	いひあふ	言ひ合ふ
いあてる	いひあてる	言ひ当てる
いあやまり	いひあやまり	言ひ誤り
いあそい	いひあそひ	言ひ争ひ
いあらそう	いひあらそふ	言ひ争ふ
いあらわす	いひあらはす	言ひ表はす
いあわせる	いひあはせる	言ひ合はせる
いおく	いひおく	言ひ置く
いおくる	いひおくる	言ひ送る
いおくれる	いひおくれる	言ひ遅れる
いおとす	いひおとす	言ひ落とす
いがい	いひがひ	言ひ甲斐
いかえす	いひかへす	言ひ返す
いかえる	いひかへる	言ひ替へる・言ひ換へる
いかお	いひかほ	良い顔・好い顔
いがかかり	いひがかかり	言ひ掛かり
いかねる	いひかねる	言ひ兼ねる

いあう——いあう	いひかはす	言ひ交はす
いかわす	いひかわす	好い気
いき	いみき	異域
いきかせる	いひきかせる	言ひ聞かせる
いきる	いひきる	言ひ切る
いぐさ	いひぐさ	言ひ種・言ひ草
いぐるめる	いひぐるめる	言ひ包める
いこしらえる	いひこしらへる	言ひ拵へる
いこめる	いひこめる	言ひ籠める
いさす	いひさす	言ひ止す
いさとす	いひさとす	言ひ論す
いしぶる	いひしぶる	言ひ渋る
いじよう	いひじよう	言ひ条
いしれぬ	いひしれぬ	言ひ知れぬ
いすぎる	いひすぎる	言ひ過ぎる
いすてる	いひすてる	言ひ捨てる
いそえる	いひそへる	言ひ添へる
いそこなう	いひそこなふ	言ひ損なふ

いそびれる	いひそびれる	言ひ逸れる
いいだ	いひだ	飯田◆
いいたいほうだ	いひたいほうだ	言ひたい放題
い	い	
いいだくだく	ゐるだくだく	唯々諾々
いいだこ	いひだこ	飯蛸圍
いいだしつべ	いひだしつべ	言ひ出しつ屁
いいだす	いひだす	言ひ出す
いいたてる	いひたてる	言ひ立てる
いいちがい	いひちがひ	言ひ違ひ
いいちがえる	いひちがへる	言ひ違へる
いいちぎる	いひちぎる	言ひ契る
いいちらす	いひちらす	言ひ散らす
いいつか	いひづか	飯塚◆
いいつぐ	いひつぐ	言ひ継ぐ
いいつくす	いひつくす	言ひ尽くす
いいつくろう	いひつくろう	言ひ繕ふ
いいつける	いひつける	言ひ付ける

いいつたえ	いひつたへ	言ひ伝へ
いいつたえる	いひつたへる	言ひ伝へる
いいつのる	いひつのる	言ひ募る
いとおす	いひとおす	言ひ通す
いなおす	いひなほす	言ひ直す
いいなす	いひなす	言ひ做す
いいなすけ	いひなづけ	許婚・許嫁
いいならわす	いひならはす	言ひ慣はす・言ひ習はす
いいなり	いひなり	言ひ成り
いいぬけ	いひぬけ	言ひ抜け
いいね	いひね	言ひ値
いいのがれる	いひのがれる	言ひ逃れる
いいのこす	いひのこす	言ひ残す
いいはなつ	いひはなつ	言ひ放つ
いいはやす	いひはやす	言ひ囁す
いいはる	いひはる	言ひ張る
いひらき	いひひらき	言ひ開き

いふくめる	いひふくめる	言ひ含める
いひふせる	いひふせる	言ひ伏せる
いひふらす	いひふらす	言ひ触らす
いひふるす	いひふるす	言ひ古す
いひぶん	いひぶん	言ひ分
いひまかす	いひまかす	言ひ負かす
いひまぎらす	いひまぎらす	言ひ紛らす
いひまぎらわす	いひまぎらはず	言ひ紛らはず
いひまぐる	いひまぐる	言ひ捲る
いひまぢがい	いひまぢがひ	言ひ間違ひ
いひまわし	いひまはし	言ひ回し
いひもらす	いひもらす	言ひ漏らす・言ひ洩らす
いひやぶる	いひやぶる	言ひ破る
いひやま	いひやま	飯山◆
いひやる	いひやる	言ひ遣る
いひよう	いひやう	言ひ様
いひよどむ	いひよどむ	言ひ淀む

いふく——いえがら	いひよる	言ひ寄る
いひよる	いひよる	言ひ込る
いひわけ	いひわけ	言ひ訳・言ひ分け
いひわたし	いひわたし	言ひ渡し
いひわたす	いひわたす	言ひ渡す
いひん	いひん	医院・医員
いひんかい	いひんかい	委員
いふ	いふ	委員会
いふ	いふ	言ふ・云ふ・謂ふ
いふう	いふう	蘭植う図
いふかたなし	いふかたなし	言ふ方無し
いふなれば	いふなれば	言ふなれば
いふまでもない	いふまでもない	言ふまでもない
いえ	いえ	(感動詞)
いえい	いえい	家・言へ
いえい	いえい	家居
いえがまえ	いえがまえ	遺詠・遺影
いえがら	いえがら	家構へ
いえがら	いえがら	家柄

いえき	いへき	胃液
いえじ	いへぢ	家路
いえずじ	いへすぢ	家筋
いえで	いへで	家出
いえども	いへども	雖も
いえなみ	いへなみ	家並
いえねずみ	いへねずみ	家鼠
いえばえ	いへばへ	家蠅
いえもち	いへもち	家持ち
いえもと	いへもと	家元
いえやしき	いへやしき	家屋敷
いえる	いへる	癒える
いえる	いへる	言へる
いえん	いへん	以遠
いえん	いへん	胃炎
いお	いほ	庵・廬・五百
いお	いを	魚
いおう	いわう	以往・硫黄

いおり	いほり	庵
いか	いか	以下・烏賊團・風
いかい	いかわ	医家
いかい	いかわ	医科・異化
いがい	いぐわい	位階・遺戒・遺誠
いがい	いがい	以外・意外
いがいちよう	いがいちやう	貽貝
いかいよう	いぐわい	遺骸
いかがわしい	いかがわしい	居開帳
いかく	いかく	胃潰瘍
いがか	いがか	如何はしい
いがかすい	いがかすい	威嚇
いがかすい	いがかすい	蘭笠團
いかずち	いかづち	胃下垂
いかぞく	いかぞく	雷團
いかつ	いかつ	遺家族
いがかみあう	いがかみあふ	威喝
いえき——いがかみあ	いがかみあふ	唾み合ふ

いかよう	いかやう	如何様
いかり	あかり	蘭刈り園
いかりくるう	いかりくるふ	怒り狂ふ
いかん	いかん	移監・如何(連語)
	いくわん	衣冠・異観・移管
	あかん	遺憾
いがん	あくわん	尉官・偉観
	いぐわん	依願
	あがん	胃癌
いかんそく	あくわんそく	維管束
いき	井キ	域・閩
	いき	◆ 生き・行き・往き・息・粋・意気・忝岐
	あき	位記・委棄・遺棄
いき	いぎ	異義・異議・意義
	あぎ	威儀
いきあう	いきあふ	行き合ふ・行き逢

いかよう——いきとう	いさえ	いきゑ	ふ
	いきおい	いきほひ	生き餌
	いきがい	いきがひ	勢ひ
	いきかう	あきぐわい	生き甲斐
	いきかえり	いきかふ	域外
	いきかえる	いきかへり	行き交ふ
	いきけんこう	いきかへる	行き帰り
	いきじ	いきけんかう	生き返る
	いきじごく	いきぢ	意気軒昂
	いきしょうちん	いきぢごく	意気地
	いきだおれ	いきせうちん	生き地獄
	いきち	いきだふれ	意気消沈
	いきちがい	いきち	行き倒れ
	いきづがい	あきち	生き血
	いきづかい	いきちがひ	閩値
	いきとうごう	いきづかひ	行き違ひ
		いきとうがふ	息遣ひ
			意気投合

いきどおり	いきどほり	憤り
いきどおる	いきどほる	憤る
いきない	あきない	域内
いきながらえる	いきながらへる	生き長らへる・生き永らへる・生き存へる
いきにんぎよう	いきにんぎやう	生き人形
いきはじ	いきはぢ	生き恥
いきもうしたて	いぎもうしたて	異議申し立て
いきよう	いきやう	異郷・異境
	いけう	異教
いぎよう	いぎやう	異形
	あげふ	偉業・遺業
いぎようどう	いぎやうだう	易行道
いきようよう	いきやうやう	意気揚々
いきよく	いきよく	医局
	あきよく	委曲
いきりよう	いきりやう	生き霊

いきどお——いげん	いぐい	あぐひ	居食ひ
	いくえ	いくへ	幾重
	いくきゆう	いくきう	育休
	いぐさ	あぐさ	蘭草園
	いくじ	いくじ	育兒
	いくび	いくぢ	意気地
	いくびよう	あぐび	猪首
	いくん	いくべう	育苗
	いけい	いけい	偉勲・遺勲・遺訓
	いけいれん	あけい	異形
	いけうお	いけいれん	畏敬
	いげた	いけうを	胃瘻攣
	いけにえ	いげた	活け魚・生け魚
	いけん	いけん	井桁
	いげん	いけん	生け贄
	いげん	あけん	意見・異見
		あけん	違憲・遺賢
		あけん	威嚴